

日 時 令和7年1月30日（木）18時30分～19時30分

場 所 小和森多目的研修集会施設

対象地区 小和森

参加人数 12名

■要望、質疑応答

内 容
○空き家について （市民から） 近くに居住者がおらず、管理が難しい空き家について、所有者に対し、どのようなアプローチを行っているのか。 （市から） ・所有者もしくは所有者がいない場合は相続人に対し文書を送付している。ただ、相続放棄により所有者不明となる事例も多い。 ・所有者が判明したとしても金銭的な理由から解体できない等、アプローチが進まない状況にある。 （市民から） 何年も放置された家などは所有者が死亡したらアプローチが終わりということにはならないのか。また、市や県に寄付するといった人もいるが、それについてどうなのか。 （市から） ・建築住宅課で数年前に空き家の所有者に意向調査を行った。売りたい・手放したい人が多いが、管理がされていないため買い手がつかない。 ・解体の補助金は出しているものの、費用が補助金の限度額を超えると同意が得難くなってしまうため、なかなか進まない状況である。 （市民から） 解体以外に空き家に関する補助金はあるのか。 （市から） ・解体以外の補助金はない。 ・危険家屋の空き家については風で屋根などが飛ばないように固定するなど安全対策は取っているが、それ以上のことはなかなかできない状況である。
○交差点の除排雪について （市民から） ロータリー除雪車によって積み上げられた交差点の雪について、上部が崩れたことに

より走行中の車がハンドルを取られ自損事故を起こした。通学路でもあるので、除排雪をお願いしたい。 (市から) ・現場を確認後、回答する。
○集会施設のエアコンについて (市民から) 補助事業を行うとのことだが具体的な内容を教えて欲しい。エアコンの新規購入のみなのか、古いエアコンを更新することも認められるのか。 (市から) ・来年度4月から実施の補助金の交付要綱を作成した。エアコンの更新も対象になるかは、後日担当課より回答する。
○カーブミラーの修繕について (市民から) 大雪でカーブミラーが壊れたため、対応をお願いしたい。 (市から) ・現場を確認後、対応する。 (市民から) 鏡面が割れたもの以外にも、曇っている、くすんでいるなどで見えにくいものも2か所ほどある。 (市から) ・鏡面が割れたものと合わせて現場を確認する。 (市民から) 以前、町会の住民から、カーブミラーについて市に報告したら町会長を通すように言われたとの話があった。カーブミラーの修繕等は町会から報告しないと対応しないのか。 (市から) ・カーブミラーの新設要望の場合は、町会からの要望とさせていただいている。修繕であれば、個人から報告していただいて問題ない。
○町会要望の数について

(市民から)

小和森地区では要望数 2 件までとあるが、継続要望が 1 件あるため、実質 1 件しか要望できない。もう少し増やせないか。

(市から)

- ・ 昨年は 4 2 町会から 8 2 件の要望があった。現場を確認するため一度に処理することができない。意向に沿えないかもしれないが、ご理解いただきたい。
- ・ 平川市内に 6 5 の町会があり、全ての町会から要望が来た場合要望数は 1 0 0 を超えてしまう。市長が話した通り、現場を確認するため全て対応するのは難しい。
- ・ 現状は今まで通りの件数にしたいと考えているため、理解いただきたい。

○町会役員のなり手不足について

(市民から)

どこの町会もそうだと思うが、町会役員のなり手がいない。7 月に実施したまちづくり懇談会でも同様の質問があり、市から効果的な解決策を検討すると回答があったが、その後どうなったか。

(市から)

- ・ 西地区（松崎小学区）及び東部地区（小国・葛川）にて複数町会からなる地域運営組織を組織している。職員等も配置しながら活動している。
- ・ どの町会でも役員の高齢化、参加メンバーの固定化、若者の加入者の減少が課題となっている。
- ・ 転入者に加入を勧めるチラシの配布、インターネットでの加入申し込みの実施などを行っている。
- ・ 仕事で忙しい人など、自分の生活に合わせた形での町会活動への参加ができるように若者向けに啓発を行うため、HP を作成した。

○いじめや不登校になった子どもへの対応について

(市民から)

発達障害の子どもやいじめ・いじめに起因した不登校などの相談が学校や保護者から来た場合、教育委員会ではどのように対応しているのか。

(市から)

- ・ 近年は本人が「不快」と感じた時点でいじめとみなすため、件数は増加しているが、初期対応に努めている。また、暴力等のいじめについては確認されていない。
- ・ 発達障害については、特別支援学級の人数が非常に増えており、小和森小では来年の入学予定者の中に 7、8 人いる。
- ・ 学習支援員が十分に確保できていない、特別支援学級を作るための場所が足りていない等の課題はあるが、現場（学校）の声を聴きながら対応していきたい。

○小和森児童公園の遊具について

(市民から)

遊具が老朽化により撤去されたが、今後遊具を設置する予定はあるのか。

(市から)

・詳細を確認後、改めて回答する。

○今の平川市の財務状況について

(市民から)

平川市の現在の財務状況について教えて欲しい。

(市から)

- ・当市の財政状況については、県内の４０市町村の中では良い方であると認識している。
- ・合併時は基金残高、いわゆる貯金が約３９億、借金である起債残高は約２３６億円であり、財政状況があまり良くない状況だったが、合併したことによる国の支援を活用しながら基金を貯めた。
- ・平成２６、２７年頃からは、基金も貯まってきたので、老朽化した公共施設の建て替えなどを緊急防災・減債事業債などを活用して行ってきた。緊急防災・減債事業債は国から交付税措置が７割あり、市の自己負担が３割となるものである。
- ・令和６年度決算では、基金残高が約１００億円、起債残高が約１８０億円となる見込みである。
- ・借金を通常より短期間で返しているのが、支出は多くなるが、将来的には財政負担が少なくなり、財政が安定すると考えている。
- ・平川市の財政力（稼ぐ力）は県内１０市の中では下から２番目である。つがる市の次に、稼ぐ力が低い。当市で行政サービスの維持に必要な資金は１００億、自主財源（税収）が３０億であり、数値としては０．３である。この数値が１０市においては下から２番目である。
- ・平川市は一次産業が基幹産業のため、一次産業の所得を維持しつつ二次・三次産業の割合を上げていくことも必要である。
- ・実質公債比率（借金の負担の程度）は県内１０市の中で上位２番目である。先に市長が述べた通り、起債を早く返済していることから基金に対して借金である起債の割合が低いためである。
- ・将来負担比率（負債が将来の一般財源に与える負担の程度）については、３５０％を超えると国の管理下に置かれてしまうが、県内１０市では平川市のみが数値外である。これは平川市の負債が将来に影響を与える可能性が、今のところ数字で表れていないということ。
- ・財政調整基金は約２７億を維持している。全国に平川市と同じような産業構造の自治体である類似団体が２５団体あり、比較すると平川市が１人当たりでは８万８千円で

あるのに対して、類似団体の平均が 8 万 4 千円と 1 人当たり約 4 千円多く貯金を持っているといえる。

- ・減債基金（借金を返済するための基金）は 1 人あたり約 6 万 1 千円である。類似団体の平均が約 3 万 5 千円のため、減債基金もしっかり額を持っていると言える。
- ・起債については、令和 3 年度時点で 1 5 8 億程度（1 人あたり約 5 2 万円）あり、類似団体と比べた場合に約 1 0 万円少なくなっている。
- ・以上から数値として将来にわたって維持が可能な財政状況であるといえる。

（市民から）

財政調整基金には町会で持っている基金（財産区）は含まれるのか。

（市から）

- ・財産区については含まれない。

○市のアスファルトの点検状況について

（市民から）

埼玉県八潮市での道路の陥没が話題になっているが、陥没の予兆の 1 つとしてマンホール周辺のひび割れがあると聞いた。これについて、市の点検状況を教えて欲しい。

（市から）

- ・八潮市での陥没の原因は壊れた下水道管に土砂が流入したことである。
- ・問題の水道管は近隣の 1 2 市町村をまたぐ流域の下水道であり、口径が約 5 m、雨水も流入する造りのため土砂の流入量が多くなっている。
- ・平川市は大きくても水道管の口径が 60cm のため、大きな陥没は起こらないと考えられるが、地下水によって空洞ができる、道路の側溝の継ぎ目から土砂が流出する等が原因で陥没することは年に 1、2 回ある。
- ・道路のひび割れについては、流入した水が凍結して舗装が上がって割れるため、必ずしも空洞ではないため陥没するとは限らない。
- ・道路が盛り上がっている、穴が開いている等の異常を見つけたら建設課まで知らせていただきたい。